

html5slides Template for Movable Type 6

html5slides を利用した Movable Type 6 用テンプレートです。

基本的にオンラインで使用しますが、インターネットが利用できる環境であればローカルにインストールしてプレゼンすることもできます。

html5slides は [Apache License 2.0](#) でライセンスされています。slides.js には一切手を入れていませんが、このテンプレートは同様の Apache License 2.0 ライセンスで配布します。修正後の再配布などの場合には、その旨を追加記述してください。

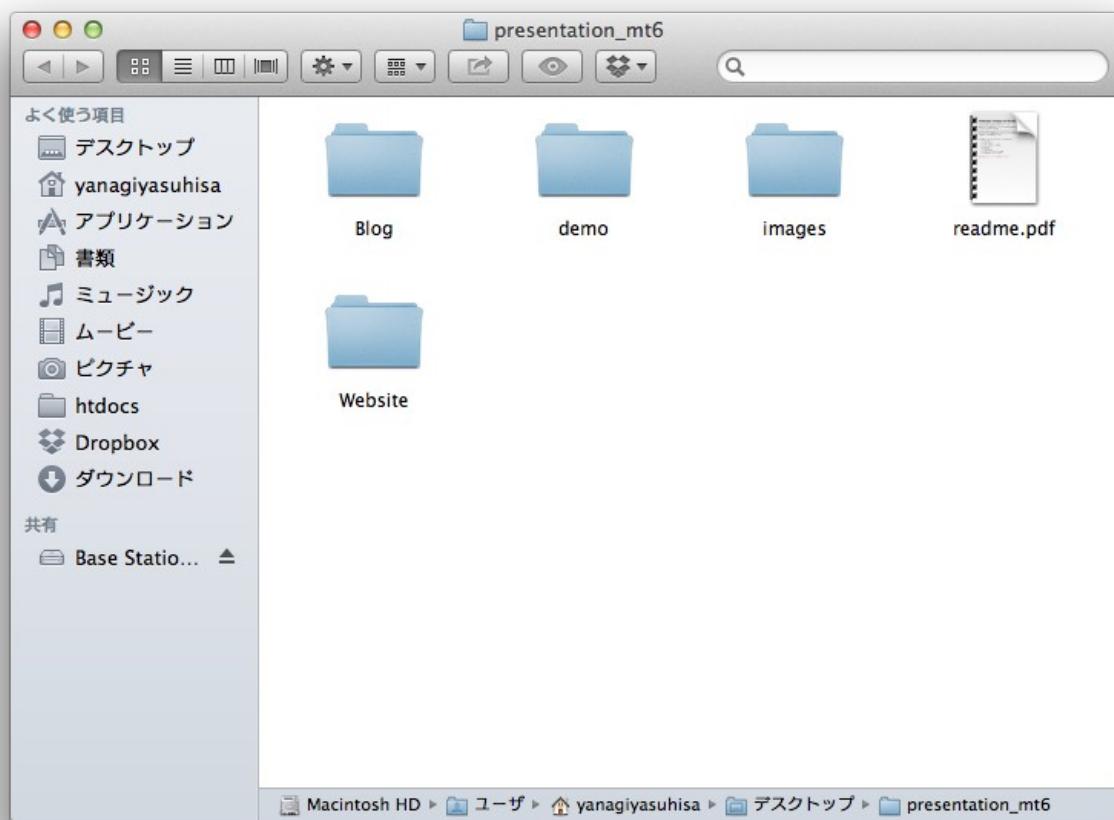
以下の順序でインストールおよびプレゼンテーションを作成します

1. フォルダの確認
2. ウェブサイトの作成
3. ウェブサイトにテンプレートを適用
4. ロゴをアップロード
5. ブログの作成
6. マルチブログの設定
7. プrezentationタイトルページを作成
8. ブログ記事で各プレゼンページを作成

解説に目を通したのち、インストール作業を行ってください。

1. フォルダの確認

圧縮ファイルを解凍してください。



フォルダ内の構成

【presentation_mt6】

```
└── readme.pdf      ······ この文書  
└── 【Blog】  
    └── main_index.html ······ メインページテンプレート  
└── 【Website】  
    └── main_index.html ······ ウェブサイト専用メインページテンプレート  
└── 【images】 ······ 直接アップロードまたはアイテムとして使用します  
    └── slide-logo-l.png ······ プレゼン先頭のロゴ  
    └── slide-logo-s.png ······ 各ページ用のロゴ  
└── 【demo】 ······ Google Code html5slides デモ用フォルダ  
    └── index.html ······ マークアップ・class などの参考用  
    └── 【images】  
        └── example-cat.jpg  
        └── example-graph.png
```

●テンプレートは文字コードUTF-8にて保存されています。UTF-8のファイルを開くことが出来るテキストエディタをご利用ください

2.構成の確認とテンプレートの選択（重要です！）

Movable Type 6 よりウェブサイトにも記事を作成できるようになりました。

このテンプレートは、ウェブサイトの記事・配下のブログの記事、どちらを使ってもプレゼンテーションを作成できるようになっています。

以下を参考に、プレゼンテーションはどこに作成するのか・データとなる記事はどこで作成するのかを考えておきましょう。

1. プrezentationを「ウェブサイト」に公開し、配下に「ブログ」を作成し記事を作成する場合は、【Website】フォルダを利用します。

(ウェブサイト) **プレゼンテーション**

└─ブログ
└─記事

2. プrezentationを「ウェブサイト」に公開し、「ウェブサイト」に記事を作成する場合は【Website】フォルダ・【Blog】フォルダのどちらでも構いません。

(ウェブサイト) **プレゼンテーション**

└─記事

3. プrezentationを「ウェブサイト配下のブログ」に公開する場合は、【Blog】フォルダを利用します。

ウェブサイト

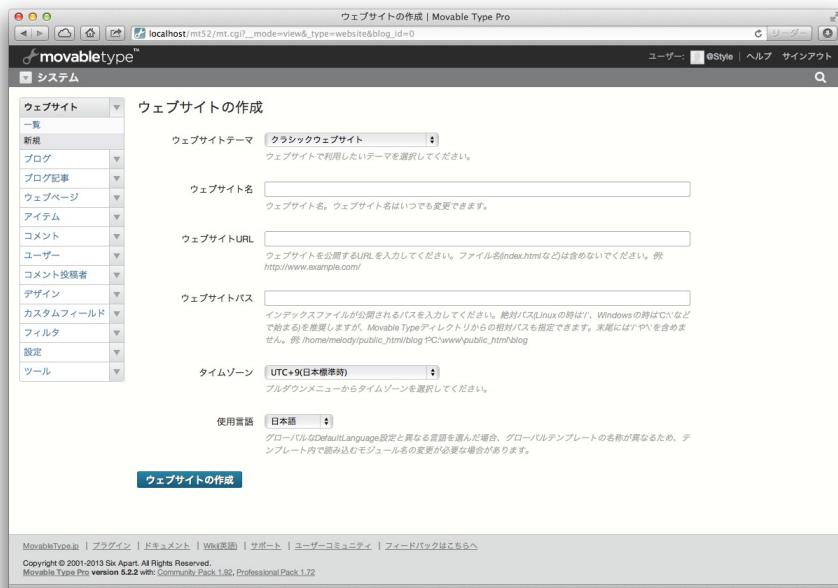
└─(ブログ) **プレゼンテーション**
└─記事

3. プrezentーションを「ウェブサイト」に作成する場合の設定

プレゼンテーションをブログに作成する場合は3-5までを読み飛ばして【**4. プrezentーションを「ブログ」に作成する場合の設定**】に進みます。

3-1. ウェブサイトの作成

プレゼンテーションを行うURLにウェブサイトを作成します



テーマに「クラシックウェブサイト」を選択します。ウェブサイト名にはプレゼンテーションのタイトルを記述し、「ウェブサイト URL」「ウェブサイトパス」を正しく記述し、「ウェブサイトの作成」ボタンをクリックします。

一度再構築を行なった後、公開パスを再確認しておきましょう。



プレゼンテーションは、このウェブサイトURLで公開されます。

3-2. ウェブサイトにテンプレートを適用

ウェブサイトテンプレートの管理

インデックステンプレート

アーカイブテンプレート

アクション

名前 出力ファイル名 公開

JavaScript mt.js c- スタティック

BSD rrd.xml c- スタティック

アーカイブインデックス archives.html c- スタティック

スタイルシート styles.css c- スタティック

メインページ index.html c- スタティック

最新記事のフィード atom.xml c- スタティック

名前 出力ファイル名 公開

公開 削除 アクション... Go

アーカイブテンプレート

アーカイブテンプレートの作成: ● 記事 ● 記事リスト ● ウェブページ

名前 アーカイブパス 公開

ウェブページ folder-path/page basename.html スタティック

カテゴリ別記事リスト category/sub-category/index.html スタティック

月別記事リスト yyyy/mm/index.html スタティック

記事 www/mm/entry basename.html スタティック

アクション

テンプレート初期化

公開プロファイルを設定

「デザイン」より「メインページ」をクリックします。

メインページ - テンプレートの編集

テンプレートの編集

メインページ

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" id="sixpart-standard">
<head>
<mt:Include module="HTMLヘッダー" />
<link rel="EditURI" type="application/rsd+xml" title="RSO" href="$>" />
<title>&lt;mt:BlogName encode_html="1"&gt;</title>
</head>
<body id="&lt;mt:WebsiteThemeID&gt;" class="mt-main-index <mt:Var name="page_layout">">
<div id="container">
<div id="container-inner">
<mt:Include module="バナーへッダー" />
<div id="content">
<div id="content-inner">
<div id="alpha">
<div id="alpha-inner">
<mt:Entries include_blogs="children" include_with_website="1" >
<mt:Ignore><!-- Use the Entry Summary module for each entry published or -->
<mt:Include module="記事の概要" display_blog_name="1" />
</mt:Entries>
</div>
</div>

```

ステータス

更新履歴: 2013-11-21 23:48:26

ショートカット

インデックステンプレート一覧

すべてのテンプレートを表示

公開されたテンプレートを確認

インクリードテンプレート

HTMLヘッダー

バナーへッダー

記事の概要

サイドバー

バナーフッター

タグリファレンス

<mt:BlogName>

<mt:Entries>

<mt:Ignore>

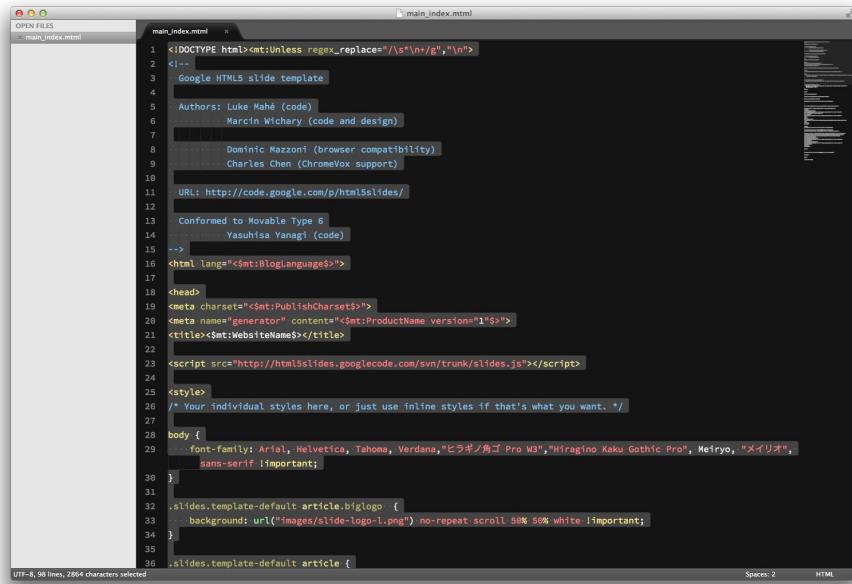
<mt:Include>

<mt:Link>

<mt:Var>

<mt:WebsiteThemeID>

【Website】 フォルダ内の「main_index.html」をテキストエディタで開いて、全てを選択しコピーします。

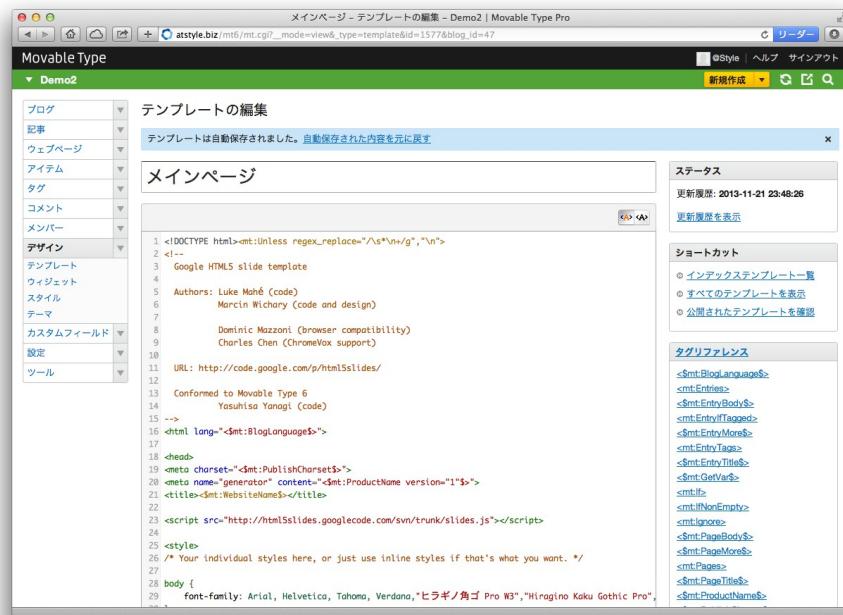


```
main_index.html
1 <!DOCTYPE html><mt:Unless regex_replace="/\s*\n/g", "\n">
2 <!--
3 Google HTML5 slide template
4 
5 Authors: Luke Nahé (code)
6 Marcin Wichary (code and design)
7 
8 Dominic Mazzoni (browser compatibility)
9 Charles Chen (ChromeVox support)
10 
11 URL: http://code.google.com/p/html5slides/
12 
13 Conformed to Movable Type 6
14 Yasuhisa Yanagi (code)
15 -->
16 <html lang="<$mt:BlogLanguage$">">
17 
18 <head>
19 <meta charset="<$mt:PublishCharset$"/>
20 <meta name="generator" content="<$mt:ProductName version="1"$"/>">
21 <title><$mt:WebsiteName$></title>
22 
23 <script src="http://html5slides.googlecode.com/svn/trunk/slides.js"></script>
24 
25 <style>
26 /* Your individual styles here, or just use inline styles if that's what you want. */
27 
28 body {
29   font-family: Arial, Helvetica, Tahoma, Verdana, "ヒラギノ角ゴ Pro W3", "Hiragino Kaku Gothic Pro", Meiryo, "メイリオ",
30   sans-serif !important;
31 }
32 
33 .slides.template-default article.biglogo {
34   background: url("images/slide-logo-1.png") no-repeat scroll 50% 50% white !important;
35 }
36 
37 .slides.template-default article {
```

UTF-8, 98 lines, 2864 characters selected

Spaces: 2 HTML

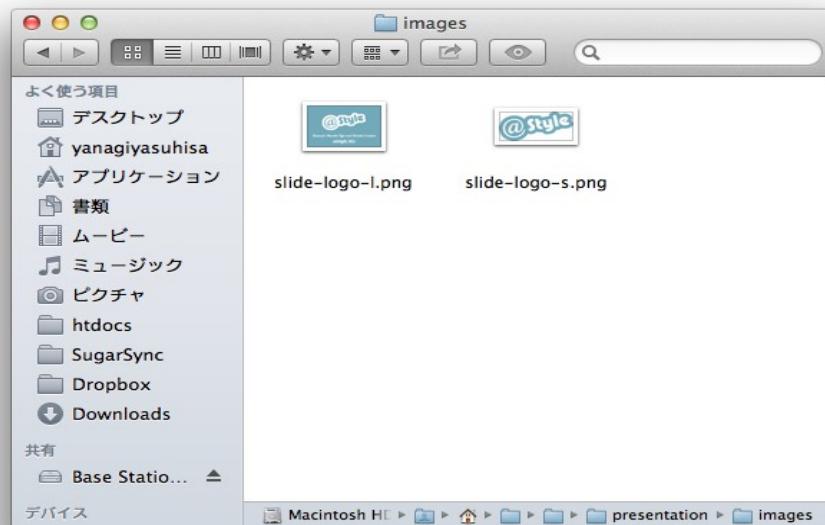
「メインページ」テンプレートにペーストします



「保存と再構築」ボタンをクリックします

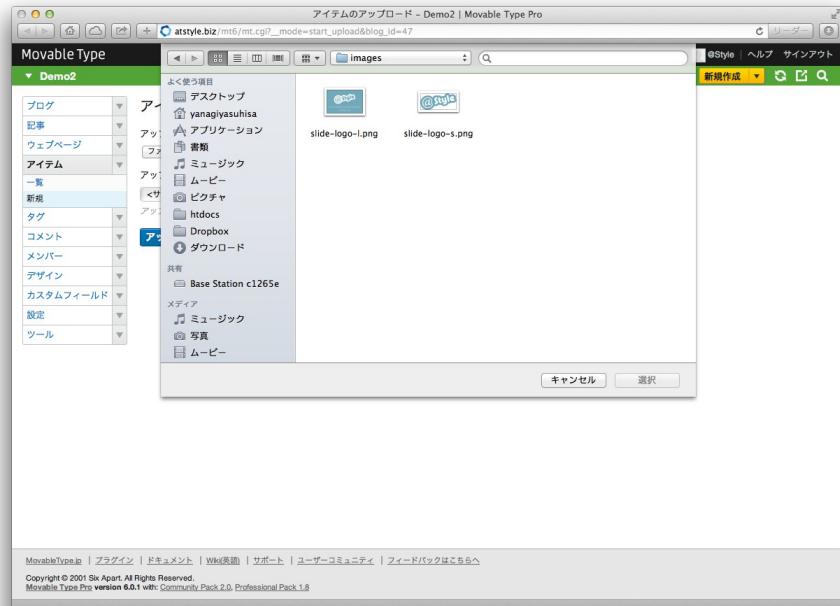
3-3.ロゴをアップロード

【images】 フォルダに入っている2つの画像を参考にロゴを作成します。



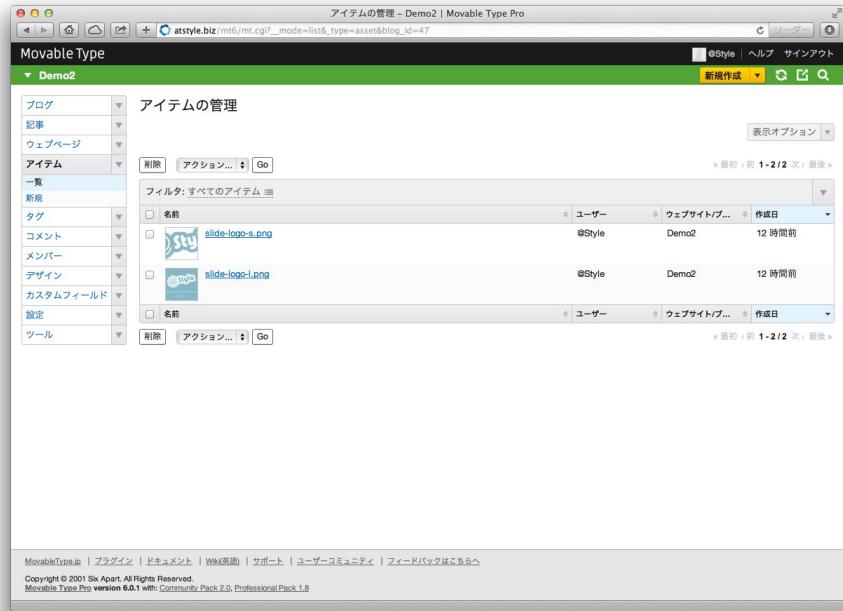
- slide-logo-l.png プрезン先頭のロゴ (600×400px)
- slide-logo-s.png 各ページ用のロゴ (141×67px)

Movable Type の「アイテム」としてアップロードします



「images」ディレクトリへアップロードします





3-4.記事の作成準備

Movable Type 6 よりウェブサイト・ウェブサイト配下のブログどちらにも記事を作成できるようになりました。**ウェブサイト配下のブログで記事を作成する場合**を解説します。

*ウェブサイトに記事を作成する場合は 3-4-1 と 3-4-2 は読み飛ばして下さい。

3-4-1.ウェブサイト配下にブログを作成する



「クラシックブログ」を選択し、ブログ名・ブログ URL・ブログパスを記述します。

*ブログ自体は表示させませんのでブログ名・ブログ URL・ブログパスは自由に設定してください。

その後、再構築をおこないます。

なお、ブログ URL は公開されませんが静的ファイルは生成されていますので、ベーシック認証などのアクセス制限をおすすめいたします。

3-4-2. マルチブログの設定

ウェブサイトのダッシュボードに戻り「プラグイン」よりマルチブログの設定を行います。

The screenshot shows the 'Plugin Configuration' screen for 'Demo2'. The left sidebar has 'ツール' (Tools) selected. Under 'ツール', '検索/置換' (Search/Replace), 'Plugin' (Plugin), '記事のインポート' (Import Article), '記事のエクスポート' (Export Article), 'テーマのエクスポート' (Export Theme), 'バックアップ' (Backup), and 'ログ' (Log) are listed. The main area is titled 'ウェブサイトのプラグイン設定' (Website Plugin Configuration). It shows a list of installed plugins: 'Facebook Commenters 2.2' (Enabled), 'MultiBlog 2.4' (Enabled, currently selected), 'UploadDir 0.63' (Enabled), and 'mixiComment 1.4' (Enabled). Below this, under 'Plugin Configuration Set: spamlookup', three more plugins are listed: 'SpamLookup - Lookups 2.2' (Enabled), 'SpamLookup - Link 2.2' (Enabled), and 'SpamLookup - Keyword Filter 2.2' (Enabled). At the bottom, there are links to 'MovableType.jp', 'Plugin', 'ドキュメント', 'Wiki', 'サポート', 'ユーザーコミュニティ', and 'フィードバック'. A note at the bottom says 'Copyright © 2001 Six Apart. All Rights Reserved. MovableType Pro version 6.0.1 with Community Pack 2.0, Professional Pack 1.8'.

再構築トリガーを設定します。

This screenshot shows the same 'Plugin Configuration' screen for 'Demo2'. The left sidebar is identical. The main area now shows the 'MultiBlog 2.4' plugin configuration. The 'Content Security' section is expanded, showing the 'MTMultiBlog tag's setting: '含めるブログ' (Include Blogs) set to '(all)'. The '属性' (Attributes) section below it explains that 'include_blogs/exclude_blogs' attributes can be used with the MTMultiBlog tag. The '再構築トリガー' (Rewrite Trigger) section is also expanded, showing the 'Create Rewrite Trigger' button. The rest of the interface is similar to the previous screenshot, including the list of other plugins and the footer information.

「ウェブサイト内のすべてのブログ」を選択し設定を保存します。

The screenshot shows the Movable Type Pro interface for plugin configuration. The left sidebar has sections like ブログ, 記事, ウェブページ, アイテム, タグ, コメント, メンバー, デザイン, カスタムフィールド, and 設定. The main area is titled 'ウェブサイトのプラグイン設定' (Website Plugin Settings) under 'ウェブ' (Webs). It lists several active plugins: Facebook Commenters 2.2 (有効), MultiBlog 2.4 (有効), UploadDir 0.63 (有効), and mixiComment 1.4 (右効). A table for 'MTMultiBlogタグの既定の' (Default for MTMultiBlog tag) shows settings for '属性' (Attributes) like 'include_blogs/extendude_blogs' and '含めるブログ' (Blogs to include). A note says '属性なしでMTMultiBlogタグを使用できるようにします。カンマで区切ったプロ グラム、または'full' (include_blogs のみ)が指定できます。' (Attributes are optional; you can use the MTMultiBlog tag without them. You can specify multiple programs separated by commas or 'full' (including all blogs)). Below this is a section for '再構築トリガー' (Rebuild Trigger) with a note '再構築トリガーを設定していません。' (No rebuild trigger is set). The bottom right shows a note 'この設定は、' (This setting is for) followed by a link 'MTMultiBlog'.

「変更を保存」ボタンをクリックしておくことを忘れないように！

3-5. プレゼンテーションタイトルページを作成

ウェブサイトのダッシュボードに戻り、新規にウェブページを作成します。

ウェブページの管理 - test3 | Movable Type Pro
localhost:mt6/mt.cgi?_mode=list&_type=page&blog_id=4
Movable Type | ヘルプ | サインアウト
新規作成 ▾

表示オプション ▾

ウェブページの管理

公開 削除 アクション... Go

フィルタ: 自分のウェブページ (フィルタしない)

□ タイトル ユーザー ワープライズ/ブ... フォルダ 更新日

ウェブページが見つかりません。

□ タイトル ユーザー ワープライズ/ブ... フォルダ 更新日

公開 削除 アクション... Go

ウェブページのフィード

MovableType.jp | ブラグイン | ドキュメント | Wiki(英語) | サポート | ユーザーコミュニティ | フィードバックはこちらへ
Copyright © 2001 Six Apart. All Rights Reserved.
Movable Type Pro version 6.0.1 with Community Pack 2.0, Professional Pack 1.8

タイトルおよび本文を記述し公開します。

ウェブページの編集 - Demo3 | Movable Type Pro
atstyle.biz/mt6/mt.cgi?_mode=view&_type=page&blog_id=4&s=109
Movable Type テーマ | Webサイト制作 | アットスタイル

ウェブページの編集 - Demo3 | Movable Type Pro
新規作成 ▾

表示オプション ▾

ウェブページの編集

ウェブページの編集

プレゼンテーションのタイトルを、ここに書きます

バーマリンク: http://present.atstyle.biz/demo3/post.html [表示] [共有]

本文 続き フォーマット: リッチテキスト

富文本编辑器工具栏

@Style 柳泰久
2013年11月21日

ステータス 公開
更新履歴: 2013-11-22 00:03:43
更新履歴を表示

公開

ステータス
公開

公開日
2013-11-22 00:03:19

公開終了日
指定されていません

ファイル名
post.html [編集]

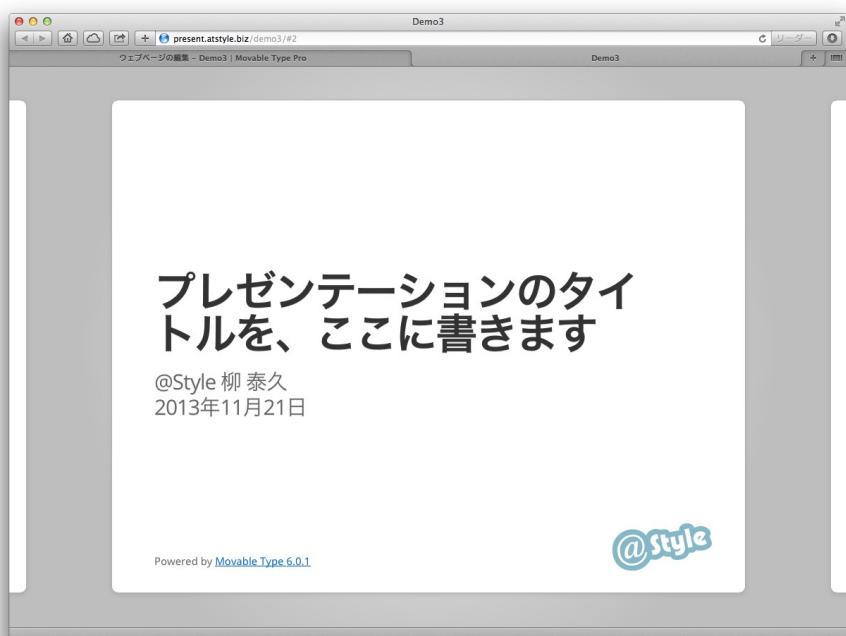
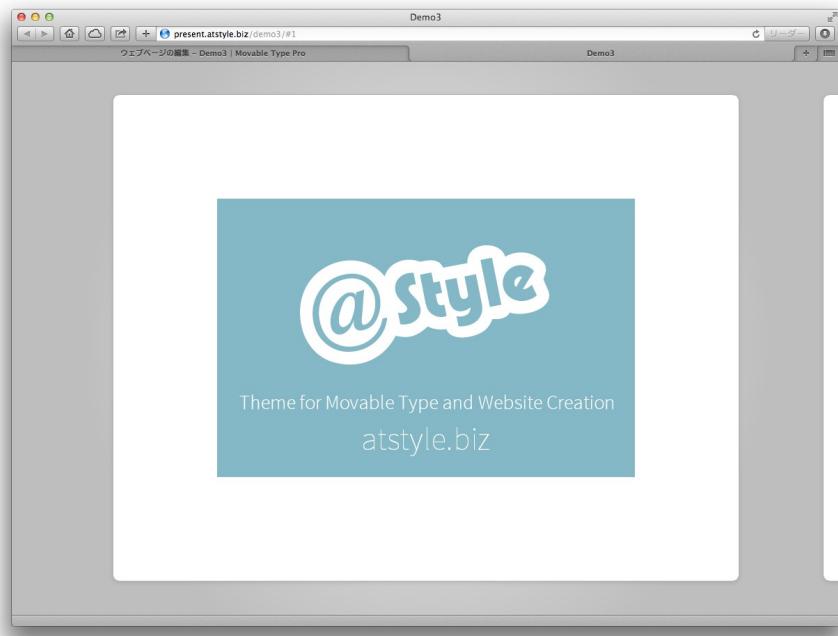
フォルダ
/

フォルダの変更
変更メモ

更新 プレビュー

コメント

トップページとタイトルページの完成です。

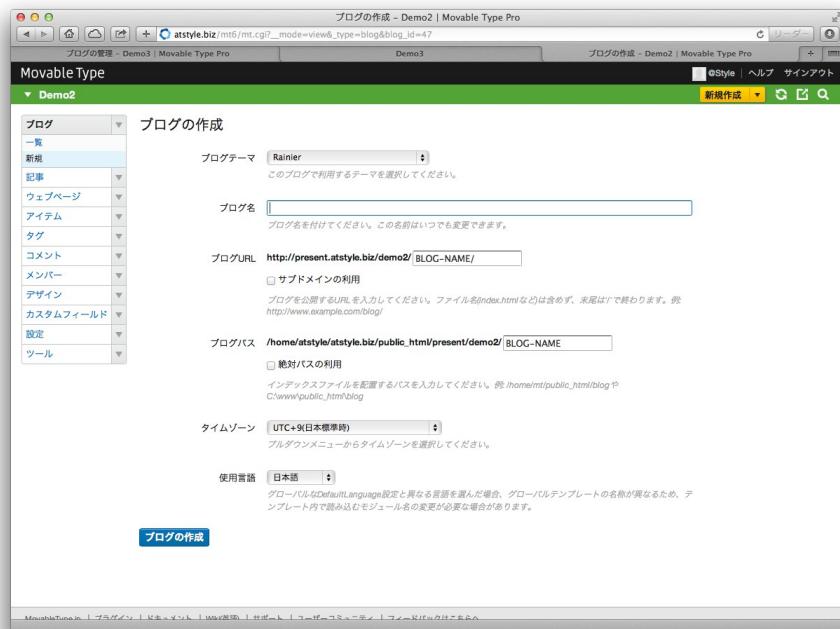


次は 【5.記事をデータとして各プレゼンページを作成】 に進みます

4. プrezentテーションを「ブログ」に作成する場合の設定

4-1. ブログの作成

プレゼンテーションを行う URL にブログを作成します



テーマに「クラシックブログ」を選択します。ウェブサイト名にはプレゼンテーションのタイトルを記述し、「ブログの URL」「ブログパス」を正しく記述し、「ブログの作成」ボタンをクリックします。一度再構築を行なった後、公開パスを再確認しておきましょう。

プレゼンテーションは、このブログ URL で公開されます。



4-2. ブログにテンプレートを適用

The screenshot shows the 'Template Management' section of the Movable Type Pro interface. It displays two lists of templates:

- インデックステンプレート** (Index Template):
 - JavaScript (mt.js)
 - RSS (rss.xml)
 - アーカイブインデックス (archives.html)
 - スタイルシート (styles.css)
 - メインページ (index.html)
 - 最近記事のフィード (atom.xml)
- アーカイブテンプレート** (Archive Template):
 - 名前 (Name)
 - 出力ファイル名 (Output File Name)
 - 公開 (Published)

名前	出力ファイル名	公開
JavaScript	mt.js	スタティック
RSS	rss.xml	スタティック
アーカイブインデックス	archives.html	スタティック
スタイルシート	styles.css	スタティック
メインページ	index.html	スタティック
最近記事のフィード	atom.xml	スタティック
名前	出力ファイル名	公開

「デザイン」より「メインページ」をクリックします。

The screenshot shows the 'Edit Template' section for the 'Main Page' of the blog. The code editor displays the following HTML structure:

```

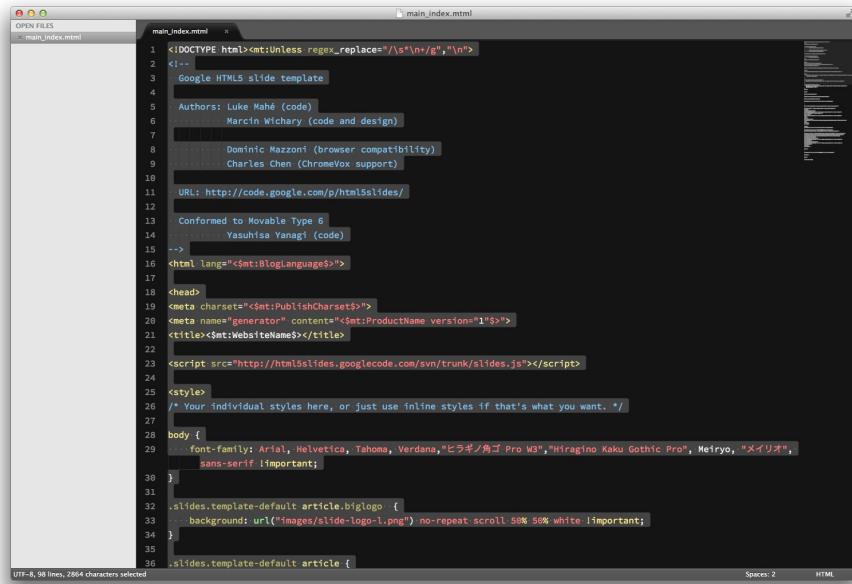
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" id="sixpart-standard">
<head>
<$mt:Include module="HTMLヘッダー"$>
<link rel="EditURI" type="application/rsd+xml" title="RSO" href="<$mt:Link template="rsd"$>" />
<title><$mt:BlogName encode_html="1"$></title>
</head>
<body id="<$mt:BlogThemeID$>" class="mt-main-index <$mt:Var name="page_layout"$>">
<div id="container">
<div id="container-inner">
<div id="alpha">
<div id="alpha-inner">
<$mt:Ignore><!-- Use the Entry Summary module for each entry published or
<mt:Include module="記事の概要"$>
</mt:Entries>
<div class="content-nav">
<a href="<$mt:Link template="archive_index"$>">アーカイブ</a>
...

```

On the right side, there are several panels:

- ステータス**: 更新履歴: 2013-11-21 23:37:13
- ショートカット**: インデックステンプレート、すべてのテンプレートを表示、公開されたテンプレートを確認
- インクルードテンプレート**: HTMLヘッダー、バナーヘッダー、記事の概要、サイドバー、バナーフッター
- タグリファレンス**: \$mt:BlogName\$, \$mt:BlogThemeID\$, \$mt:Entries\$, \$mt:Ignore\$, \$mt:Include\$, \$mt:Link\$, \$mt:Var\$

【Blog】フォルダ内の「main_index.mtml」をテキストエディタで開いて、全てを選択しコピーします。

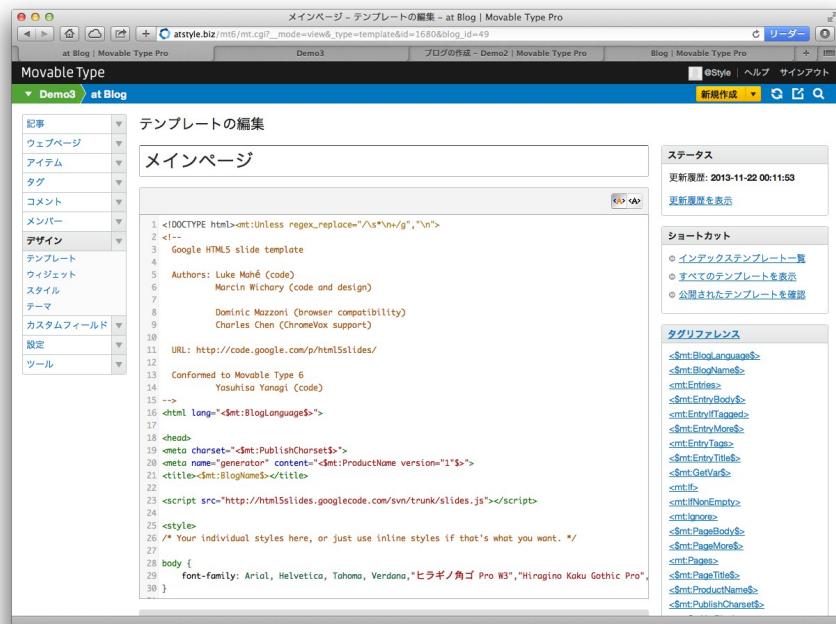


```
main_index.mtml
main_index.mtml
1 <!DOCTYPE html><mt:Unless regex_replace="/\s*\n/g", "\n">
2 <!--
3 Google HTML5 slide template
4
5 Authors: Luke Mahé (code)
6 Marcin Wichary (code and design)
7
8 Dominic Mazzoni (browser compatibility)
9 Charles Chen (ChromeVox support)
10
11 URL: http://code.google.com/p/html5slides/
12
13 Conformed to Movable Type 6
14 Yoshihisa Yanagi (code)
15 -->
16 <html lang="">
17
18 <head>
19 <meta charset="">
20 <meta name="generator" content="$">">
21 <title><smt:WebsiteName$></title>
22
23 <script src="http://html5slides.googlecode.com/svn/trunk/slides.js"></script>
24
25 <style>
26 /* Your individual styles here, or just use inline styles if that's what you want. */
27
28 body {
29   font-family: Arial, Helvetica, Tahoma, Verdana, "ヒラギノ角ゴ Pro W3", "Hiragino Kaku Gothic Pro", Meiryo, "メイリオ",
30   sans-serif !important;
31 }
32 .slides.template-default article.biglogo {
33   background: url("images/slide-logo-1.png") no-repeat scroll 50% 50% white !important;
34 }
35
36 .slides.template-default article {
```

UTF-8, 98 lines, 2864 characters selected

Spaces: 2 HTML

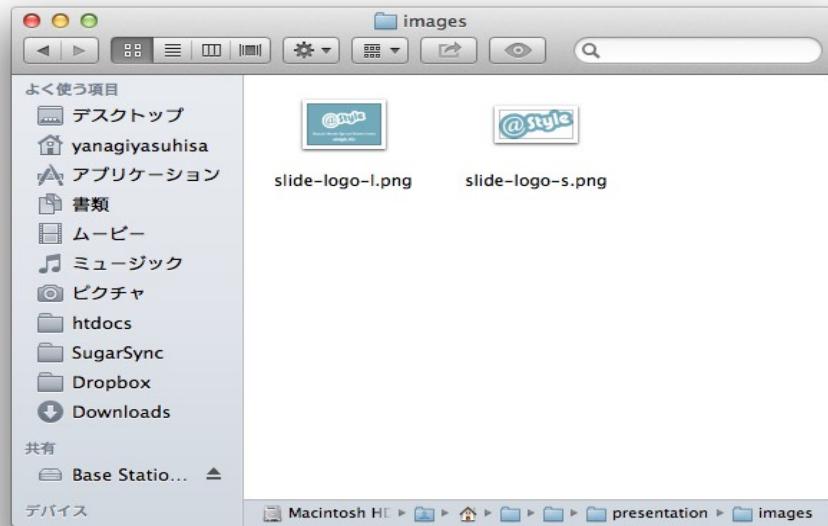
「メインページ」テンプレートにペーストします



「保存と再構築」ボタンをクリックします

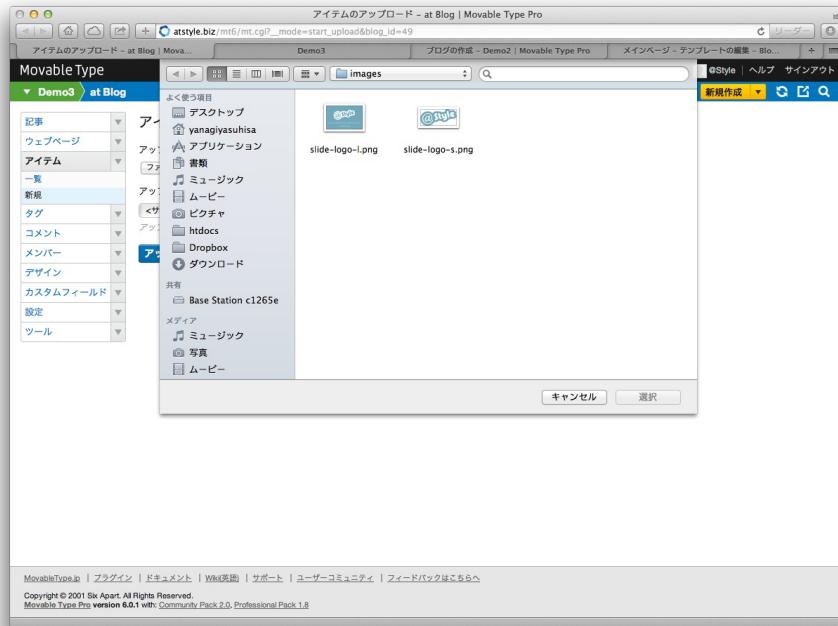
4-3.ロゴをアップロード

【images】 フォルダに入っている2つの画像を参考にロゴを作成します。



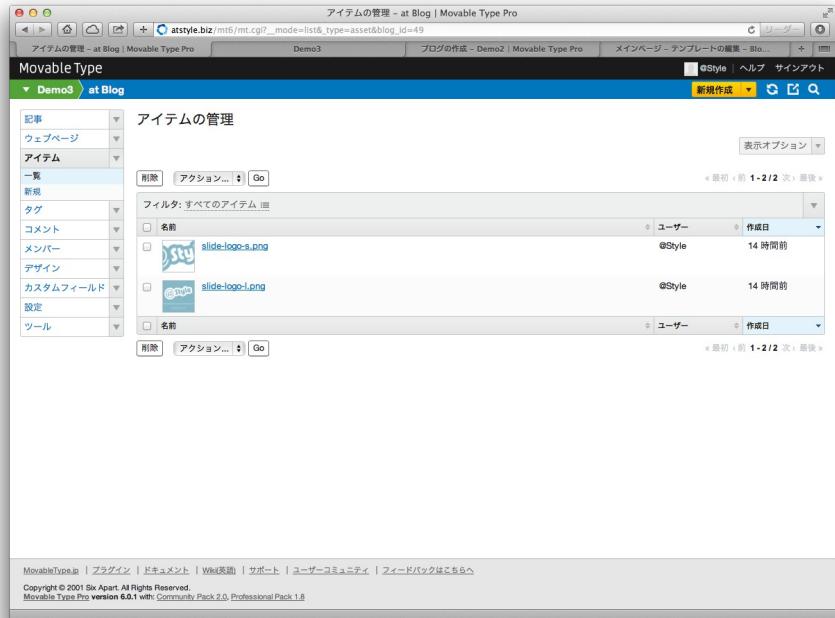
- slide-logo-l.png プрезン先頭のロゴ (600×400px)
- slide-logo-s.png 各ページ用のロゴ (141×67px)

Movable Type の「アイテム」としてアップロードします



「images」ディレクトリへアップロードします





4-4. プレゼンテーションタイトルページを作成

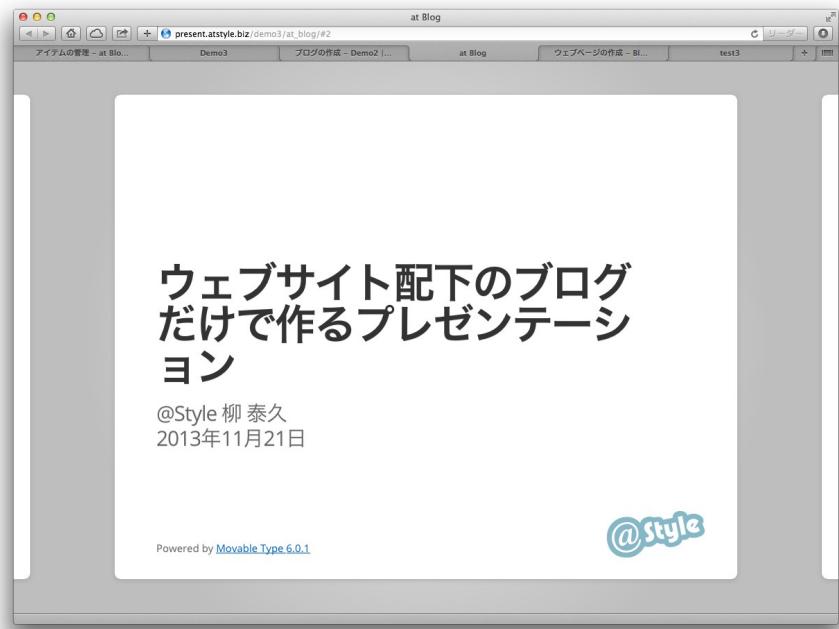
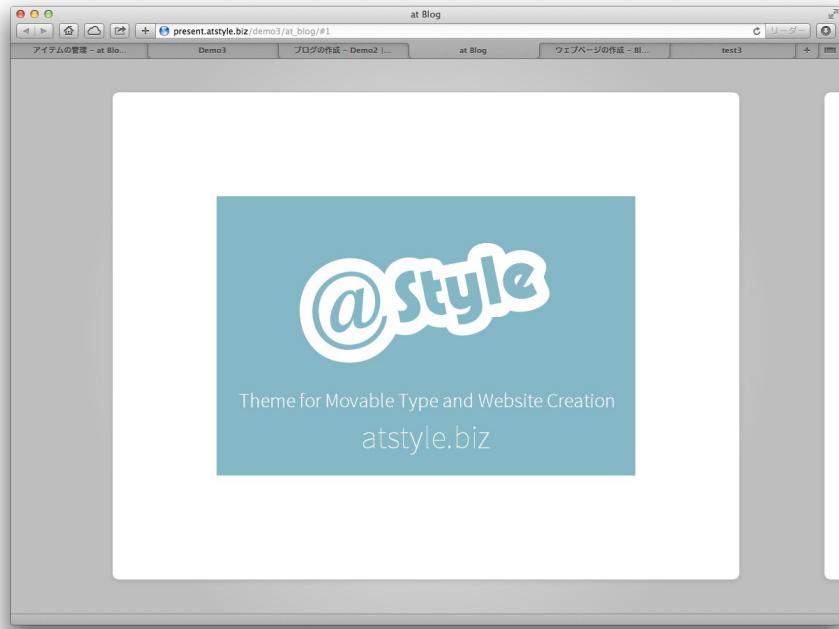
ブログのダッシュボードに戻り、新規にウェブページを作成します。

The screenshot shows the Movable Type Pro interface. The top navigation bar includes links for 'Blog' and 'Movable Type Pro'. The main content area is titled 'ウェブページの管理 - Blog | Movable Type Pro'. On the left, there's a sidebar with categories like 'Blog', 'New Item', and 'Custom Fields'. The main panel has two search boxes: one for 'Title' and another for 'Webpage'. Below these are sections for 'Actions' and 'Display Options'. At the bottom, there's a footer with copyright information: 'Copyright © 2001 Six Apart. All Rights Reserved.' and 'Movable Type Pro version 6.0.1 with Community Pack 2.0, Professional Pack 1.8'.

タイトルおよび本文を記述し公開します。

This screenshot shows the 'Create Webpage' form. The title field contains the text 'タイトル'. The right side of the form includes sections for 'Status' (set to '新しいウェブページ'), 'Publish Date' (set to '2013-11-22 14:47:01'), and 'Comments' (checkboxes for 'コメントを許可' and ' トラックバックを許可'). There are also sections for 'File Name' (set to '...html'), 'Folder' (set to '/'), and 'Change Log'.

トップページとタイトルページの完成です。



5.記事をデータとして各プレゼンページを作成

ウェブサイトあるいはブログに記事を作成します。作成した 1 記事がプレゼンテーションのスライド 1 枚になります。

同梱の Google Code html5slides デモ用ファイルまたは以下の URL を参考にマークアップします。

<http://html5slides.googlecode.com/svn/trunk/template/index.html>

<article>~</article>までが 1 スライドになっているので理解しやすいと思います。

- <ul class="build">
- <div class="build"></div>
- <div class="source"></div> etc…

small font を利用したい場合には、「タグ」に「smaller」と記述します。

同様に全画面の画像・インラインフレームを利用したい場合は「fill」と記述します。

すると、自動的に article にそれぞれの class 名が追加されます

テンプレートのソース

```
<mt:Ignore>=====ブログ記事=====</mt:Ignore>
<mt:IfNonZero tag="BlogEntryCount" include_blogs="children">

<mt:Entries lastn="0" include_blogs="children" sort_order="ascend">
<mt:SetVarBlock name="CTag"><mt:EntryTags><$mt:TagName></mt:EntryTags></mt:SetVarBlock>
<article<mt:EntryIfTagged> class="<$mt:GetVar name="CTag"$>"</mt:EntryIfTagged>>
<h3><$mt:EntryTitle$></h3>
<mt:IfNonEmpty tag="EntryBody">
<$mt:EntryBody replace="  

```

各記事が完成したらウェブサイトの URL を開き、動作を確認します。

*ページ送りはマウス・矢印キーのどとらでも作動します。

以上です。

ありがとうございました。